Q. 第２回会議で出された「解決策のアイデア（①～⑬）」を参考にしながら、前回担当したターゲットの視点で、ボランティア活動の継続性や活性化につながる具体的な取組をご提案ください。

事前課題①
ターゲット２（子育てファミリー）

資料２－１

事業タイトル
憩いの森で家族で遊ぼう
（解決策のアイデアの番号：①, ②, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑫）

概　要
憩いの森でモルックしたり、落葉集めや、松ぼっくり・どんぐり拾い、拾った松ぼっくりやどんぐりで工作したり、森にある樹木について調べたり、どんな昆虫がいるのか観察したりなど

区民・団体の役割
定期的なイベントとして参加者が参加しやすい日程を考慮して開催する。単発ではなく継続してできる体制を整える。告知は、区報などに掲載してもらったり、近隣の学校や商業施設にチラシの配布を依頼する。

区の役割
告知についての支援
ボランティア希望者の募集支援
工作などの用具の貸し出し

事業タイトル
①〇〇体験デー　②サポートメンバーになろう！
（解決策のアイデアの番号：①, ③, ④, ⑤, ⑨, ⑫）

概　要
別紙参照

区民・団体の役割
日々の活動の写真を撮影し、SNSで発信する。次回のボランティアの予告や体験型イベントなどの発信。
イベントが多いと楽しそうと興味を持ってもらえるのではないか。

区の役割
ボランティアに参加している人との横の連携が少ないように感じた。第2回目の会議に参加して、お互いがどのような活動をしているかを知った。 それぞれが他の活動に単発で行ってみるのも、よい刺激になるかと思った。
団体間をつなぐようなポータルサイトや制度があるといいなと思った。

事業タイトル
ねりま協働活動フェスティバル
（解決策のアイデアの番号：①, ②, ③, ④, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨, ⑩, ⑪, ⑫, ⑬）

概　要
協働活動をしている団体を一同に集めて、活動の紹介やマッチングをするイベントを開催。区民と多くのボランティア団体との接点を設ける。ボランティアに関心のある人はもちろん、関心はあっても自分に何が向いているか分からない人、そしてイベントがあるのでたまたま来た人などにまずはどんな活動があるかを知ってもらうことが大切なのではないでしょうか？会場で使えるマッチングサイトを作成すると、人員削減ができ、イベント後も継続使用ができます。個別でやるより格段に成果が上がり、さらに団体同士の横のつながりもできるはずです。

区民・団体の役割
各ブースで、日頃の活動内容の紹介など

区の役割
イベントの開催

事業タイトル
ボランティアサポート制度
（解決策のアイデアの番号：⑥, ⑪）

概　要
現在活動しているボランティア団体の活動を専門家(みどりのまちづくりセンター職員など)が定期的に巡回し、客観的な視点からアドバイスを行い活動内容を充実させる。
現在ボランティア活動をしている人がスキルアップしていく様子を発信していけば、活動に参加したいと思う区民も増えていくと考えます。

区民・団体の役割
向上心と活動内容の発信

区の役割
必要な専門家の派遣と継続的サポート

【解決策のアイデアの番号(①～⑬)】①単発・短時間やスポット型の参加形態／②柔軟な参加ルール／③できる範囲で関われるサポートメンバー制度／④土日開催・身近な場所で参加できる活動／⑤現地での可視化／⑥ターゲットに合った情報発信／⑦情報発信の連携・一元化／⑧学校やイベントを通じたプッシュ型情報発信／⑨緩やかな受け入れ体制／⑩初心者でもできる作業内容からのスタート／⑪身近な人からの声掛け／⑫体験機会・ゲーム性・収穫などの工夫／⑬インセンティブ・ご褒美

Q. 第２回会議で出された「解決策のアイデア（①～⑬）」を参考にしながら、前回担当したターゲットの視点で、ボランティア活動の継続性や活性化につながる具体的な取組をご提案ください。

事前課題①
ターゲット２（子育てファミリー）

資料２－１

事業タイトル

アイデア発掘制度

（解決策のアイデアの番号：②, ⑧, ⑨, ⑬）

→「資料２－３」に記載し、４班にも共有しています

概　要

ターゲットは区内に長年住んで居ますので、練馬区の緑や農地の減少を肌で感じている。
中高年夫婦の家は以前畑だった、シニアのベランダからは少なく成って来た練馬の様子が感じて来る。
だからそれぞれの意見を出して貰う、練馬の緑の変遷等を区報に投稿して貰い、緑の減少を食い止めるアイデアを出して貰う。

→担当ターゲットとは異なる視点から検討された内容ですが、班メンバーから提出された事前課題であり、議論の参考となることから掲載しております。

区民・団体の役割

学校を通して小学生に対して緑の大切さや触れ合う機会を作る「町探検」等。

区の役割

区報に話題や花壇活動員募集の記事を載せる

【解決策のアイデアの番号（①～⑬）】 ①単発・短時間やスポット型の参加形態／②柔軟な参加ルール／③できる範囲で関われるサポートメンバー制度／④土日開催・身近な場所で参加できる活動／⑤現地での可視化／⑥ターゲットに合った情報発信／⑦情報発信の連携・一元化／⑧学校やイベントを通じたプッシュ型情報発信／⑨緩やかな受け入れ体制／⑩初心者でもできる作業内容からのスタート／⑪身近な人からの声掛け／⑫体験機会・ゲーム性・収穫などの工夫／⑬インセンティブ・ご褒美

Q. 第２回会議で出された「解決策のアイデア」を参考にしながら、前回担当したターゲット意見が出た「解決策のアイデア」についてボランティア活動の継続性や活性化につながる具体的な取組をご提案ください。

事前課題②
ターゲット２（子育てファミリー）

資料２－２

事業タイトル
憩いの森で家族で遊ぼう
（解決策のアイデアの番号：ー）

概　要
ー

区民・団体の役割
ー

区の役割
ー

事業タイトル
練馬つながる公園ボランティアウォーク
（解決策のアイデアの番号：⑯）

概　要
どこでどのようなボランティア活動が行われているかを知らない方向けに、練馬区内のボランティア活動が行われている公園から公園を歩いて、街道などの歴史の説明、そこの公園でのボランティア活動や木や花の説明を受ける。
ウォーキング後、興味があったボランティアがあれば、さらにそこの1日体験の案内をする。練馬区は広いので、いくつかエリアを分けて実施する。

区民・団体の役割
団体は活動しているボランティアの方に公園で待機してもらうか、一緒にウォーキングに参加してもらう。

区の役割
ボランティアウォークの実施。
街道の説明や公園ボランティアの方々への依頼や日程調整。

事業タイトル
親子で花とふれあう体験プログラム
（解決策のアイデアの番号：①～⑬以外）

概　要
球根植え、たねだんご作り、花の摘み取りなど子供でも比較的簡単に作業を体験できるプログラムを受け入れ可能な協働花壇を巡回して実施。参加しやすい地域の花壇で実施される時に参加できる制度。

区民・団体の役割
受け入れ団体には、事前の講習会や専門家による実技指導、受け入れ回数に応じて褒賞制度やなどを設ける。

区の役割
参加者の募集、受け入れ団体の調整、指導、情報発信。

事業タイトル
シニアみどり参加デー
（解決策のアイデアの番号：㉑）

→「資料２－３」に記載し、４班にも共有しています

概　要
活動場所に告知用のノボリを立てる「花壇活動実施中、会員募集中」
当日は会員募集の案内や活動内容、四季の花壇の様子等を掲載したチラシを配布する。
公園では毎朝ラジオ体操実施中につき、チラシ配布し加入促進する、特にシニアが多い為。
→担当ターゲットとは異なる視点から検討された内容ですが、班メンバーから提出された事前課題であり、議論の参考となることから掲載しております。

区民・団体の役割
パソコンでチラシ作成する

区の役割
ノボリを作る会社の紹介、繋いて貰う
広報紙に載せる機会を作り花壇活動の紹介

【解決策のアイデアの番号(⑭～㉒)】⑭若者が日常的に利用するSNSや動画による情報発信／⑮団体の雰囲気や活動内容がわかる見学・体験／⑯地域の歴史や自然を学びながら楽しさや達成感を得られる体験機会／⑰開催日程の柔軟化、単発化／⑱既存の地域活動にみどりの要素を取り入れる／⑲地域に関わるメリットを実感できる機会／⑳感謝・達成感を実感できる機会／㉑紙媒体の活用と現地での案内・掲示／㉒庭の手入れなど個人で行っている取組（趣味など）を地域活動につなげる工夫

Q. 前回の会議で共有しきれなかった意見や新たに思いついたアイデアなどがありましたら、具体的な内容とあわせてご提案ください。

事前課題③
ターゲット１～４共通

資料２－３

■他の班からのアイデアや事前課題③に記載されたアイデア（班として特に提案したい取組として整理する際に、他の班からのご意見も参考にご活用ください。

事業タイトル
大学、現役世代ボランティアグループ
（解決策のアイデアの番号：①,②,③,④,⑧,⑩,⑬）

ターゲット１
ターゲット３
へのアイデア

概　要

時間にゆとりがない分、オンラインを通しての学びや、活動を土日に限り、ボランティア打ち合わせはオンラインにする
参考　豊玉リサイクルセンター　Sunday volunteer グループ（主に社会人で構成、他のグループは平日活動や対面打ち合わせだが、打ち合わせはオンラインにし、活動は土日の合同イベントなどに限り参加）
大学生が現役世代と関わることで、就職や働くことについて関係づくりできる場にもなる

区民・団体の役割

若者、現役世代視点でのみどりを守る活動の協議やイベント企画など

区の役割

打ち合わせ調整や議事録作成。
予算管理、物品購入など。
地域の大学への参加呼びかけ

事業タイトル
（暫定）若者とみどりの交流・意見交換会
（解決策のアイデアの番号：ー）

ターゲット１
へのアイデア

概　要

みどりのボランティア活動に参加している若者や、活動に関心はあるものの参加していない若者が集まり、活動経験や関心、参加するうえでの課題などを共有する機会を設ける。
若者同士の横の繋がりを育み、新たな活動を知るきっかけや、継続的な参加につなげる。
また、若者から寄せられた意見を、団体の活動や受入れ方法の改善に活かす。

区民・団体の役割

交流会への参加、活動情報や経験の共有、若者の意見を踏まえた活動の改善

区の役割

交流会の企画・運営、若者への周知、参加者と活動団体との繋がり作り、意見の集約と団体への共有

事業タイトル
アイデア発掘制度
（解決策のアイデアの番号：②,⑧,⑨,⑬）

ターゲット４
へのアイデア

概　要

ターゲットは区内に長年住んで居ますので、練馬区の緑や農地の減少を肌で感じている。
中高年夫婦の家は以前畑だった、シニアのベランダからは少なく成って来た練馬の様子が感じて来る。
だからそれぞれの意見を出して貰う、練馬の緑の変遷等を区報に投稿して貰い、緑の減少を食い止めるアイデアを出して貰う。

区民・団体の役割

学校を通して小学生に対して緑の大切さや触れ合う機会を作る「町探検」等。

区の役割

区報に話題や花壇活動員募集の記事を載せる

事業タイトル
シニアみどり参加デー
（解決策のアイデアの番号：㉑）

ターゲット４
へのアイデア

概　要

活動場所に告知用のノボリを立てる「花壇活動実施中、会員募集中」
当日は会員募集の案内や活動内容、四季の花壇の様子等を掲載したチラシを配布する。
公園では毎朝ラジオ体操実施中につき、チラシ配布し加入促進する、特にシニアが多い為。

区民・団体の役割

パソコンでチラシ作成する

区の役割

ノボリを作る会社の紹介、繋いで貰う広報紙に載せる機会を作り花壇活動の紹介

Q. 前回の会議で共有しきれなかった意見や新たに思いついたアイデアなどがありましたら、具体的な内容とあわせてご提案ください。

事前課題③
ターゲット１～４共通

資料２－３

■その他ご提案・ご意見

介護サービスを受けられる65歳を目安に地域活動参加のパンフレットの送付。
要支援手前の支援予防の生きがい、体づくりなど、みどりだけでもなく、興味、関心、これまでの　経験を生かしたボランティア活動への登録を促す
リサイクルセンターのように、各地域でみどりのセンターをつくり、老人だけでなく、若者や現役世代、ひきこもり、不登校の学生、障がいのある方など居場所づくり、活動、みどりを通じた人とのコミュニケーションができる拠点になる場所をつくる。

私は現在地域自治会の会長をしています。 朝会時色々な啓蒙活動をしていますが花壇活動への参加や運動の為に花壇を眺め気晴らし、落ち葉拾いの参加をお願いしています。
花壇活動を区民にPRする為に花壇周辺にミニ掲示版の設置、プラスチックで出来たケースの設置をお願いしたい。（次に花植えの日程の告知、どんな花を植えて欲しいか提案）
区民との繋がり。

ボランティア団体の善意に頼りきったイベントの開催は、現在活動している人たちを疲弊させ、その人たちが活動から手を引くなどの逆効果になり得ます。
ボランティアをしている人もほとんどが素人であり、時に専門家に助言を受けたい、困っていることを共有したいと思っている人が多くいます。
そういった意味でも、まちづくりセンターなどにうまくコーディネートしていただきたいのです。センターの位置づけや みどり推進課との区別がよくわかりません。
現在活動している人たちが楽しそうに活動をしていれば、周囲の関心も高まると考えます。まずはそうした方たちを大切にした上で、更なる増員を目指していただけますよう
重ねてお願い申しあげます。

区民に知ってもらう事が大事です。
親子、孫との体験会 各団体との体験、見学めぐり

この会議で提案された事業を、実現に向けて期待している。

課題①②ともアイデアに対する具体例は「AI（Copilot ）」を活用したが、
よかったのかな？

別　紙

事前課題①「①○○体験デー　②サポートメンバーになろう！」の概要

①〇〇体験デー

・七夕の笹の葉体験デー

　公園で笹の葉がある場合、七夕の１週間前に「七夕に笹の葉を切って自分で作ってみよう！」という親子で参加できる体験型イベントを行う。

　募集にはSNSの他に公園前に案内を掲げる。

　自分で切った笹の葉を持ち帰ってもらう。切る前に、ボランティアの新規勧誘の説明やチラシを配る。

他、「親子で筍を掘ってみよう！」など。掘った筍を持ち帰ってもらう。

・初心者歓迎デー

　花壇の場合、「初心者歓迎！親子でパンジーを植えてみよう！」という具体的な花の名前を入れて募集する。

　募集にはSNSの他に花壇前に案内を掲げる。

　何回かに１度は初心者を参加できる日を作る。初心者をサポーターする係もつける。

　勧誘が目的のため、通常より作業が進まなくてもよいくらいの認識にする。

②サポートメンバーになろう！

特に作業が多い日など、日にちを限定してスポットでボランティアを募集する。

ボランティア体験をしてもらい、新規勧誘につなげる。

例）落ち葉が多い月、雑草が多い月、参加人数が少ない月など

※ボランティア活動時にはのぼり、または案内板などを掲示して何のボランティアが何の活動をしているか可視化する。ボランティアのＱＲコードを掲示するなど。